

森林のおくりもの 下笠居小学校森林教室

〈香川森林管理事務所〉



森林教室の様子

一月一九日、高松市立下笠居小学校で五年生七五名を対象に森林教室を実施しました。この森林教室は、国語の授業で「森林のおくりもの(富山和子著)」を学習したことから、「もっと森林について学習したい」と当所に依頼があり、実施しました。当日はパワーポイントを用いた森林教室と、木工を行いました。

林の働きにはどのようなものがあるか」等々、森林に関する様々な話をしました。その中身としては、樹木の話だけでなく、森林の土壌や、森林の中に生きる生物の相互関係、木材や林産物の生産・利用等多岐にわたりました。比較的町中にある小学校ですが、山遊びの好きな子も多いようでした。

後半は木工を行いました。児童は、木片や木の枝、まつぼっくりやどんぐりで作られた見本を見ながら、思い思いに作品を作っていました。なかなかくっつかない木片や、ボンドの付けすぎに四苦八苦しなながらも、カプトムシやトトロ? など、個性的な作品を次々に完成させていました。

最後に、児童から「森林のことがよくわかりました。これを機会にもっと森林について知りたいです。」とお礼の言葉がありました。この森林教室が森林や林業に興味を持つきっかけ、あるいはより森林に親しみを感じる機会になればとの思いから、担任の先生方に対して、今後必要があれば出向きますとお話をし、森林教室を終了しました。

森林保護員と 連携した歩道修繕

〈嶺北森林管理署〉

工石山自然休養林は、高知市等の近郊に位置していることから、祝日等には入林者が多いこともあり、平成一八年度から「天然生林管理水準確保緊急対策事業」による森林保護員(グリーンサポータースタッフ)による保全管理業務を続けています。

この活動により、歩道や案内板のきめ細かな整備が進むとともに、森林植生や季節毎の草花の説明も行われることから入林者からも大変好評を得ているところです。

こうした中で、最近になり「サイの河原」に至る木製橋(長さ約七・〇m)が下流側に傾きはじめたため、足元が滑らないようにバランスをとりながら通行する人や橋を渡らずに溪流の石伝いに渡る登山者もみられるようになってきているとの情報がありました。

この為、登山者の安全を確保するために、土居森林事務所職員と森林保護員により橋の修繕を実施することとしました。



木製橋の修繕

修繕にあたっては、できるだけ周辺の自然景観にあつたものとするため新たな資材は持ち込まず、既存の材料を有効活用することとしました。その結果、修繕後の橋は見違えるほど立派というわけではありませんが、自然林の中にやさしくとけ込むすばらしい橋を再生することができました。



卒業制作で時計づくり

〈高知中部森林管理署〉

一月一七日、香美市立大栃小学校六年生全員が卒業制作として、保護者らとともにホオノキの部材と機械パーツを組み合わせた置き時計を作りました。

まず、子どもたちに樹木や森林についてあらためて見つけめなおしてもらおうと、いつも見慣れている校庭の木、制作の材料としてつかったホオノキやミズメの特徴、木の名前の由来や、物部の森林にすむ動物のことなどについて写真を用いながら話をしました。



オリジナル木製時計

その後、いよいよ時計づくりに取りかかると、子どもたちは真剣な表情で木の文字盤に向かい、これに絵を描いたり、小枝で数字を形取ったりしていききました。予想以上に時間はかかりましたが、各々個性にあふれた作品を完成させることができました。

最後に保護者から「長年物部に住んでいます。樹木や動物のことでまだ知らないことがたくさんあり、勉強になりました。」とお礼のごあいさつをいただきました。

卒業を間近に控えた六年生たちに、小学校での最後の作品を通じて木の温かさと時間の大切さを感じてもらえれば、この数年間、彼らと森林や木のことをともに学んできた森林環境教育担当者として、このうえなく幸せなことだと思っています。

親子で木工クラフトづくり

〈高知中部森林管理署〉

一月三〇日、高知市立中野保育園で、園児やその保護者らとともに木工クラフトを作成しました。当日、園ではバザーが行われており、当署は

その一角で、あらかじめ加工しておいたキットを使って組み立てる木の動物づくりのコーナーを担当しました。今回は、干支にちなんで用意しておいたトラが男の子に大人気でした。また、女の子はウサギやクマのキットを選び、それぞれ楽しそうに作品を作っていました。細かいパーツは少々苦手だったのか、保護者の方々に手伝ってもらい、できあがった作品を大切そうに持ち帰っていました。

当署は、中野保育園で毎年木のおもちやづくりを行っています。今後も児童・園児らとこうした機会を持ち、子どもたちに森林や木材について興味を持ってもらうきっかけづくりをしていきたいと考えています。

その一角で、あらかじめ加工しておいたキットを使って組み立てる木の動物づくりのコーナーを担当しました。今回は、干支にちなんで用意しておいたトラが男の子に大人気でした。また、女の子はウサギやクマのキットを選び、それぞれ楽しそうに作品を作っていました。細かいパーツは少々苦手だったのか、保護者の方々に手伝ってもらい、できあがった作品を大切そうに持ち帰っていました。



親子木工クラフト

― 農林業体験インターンシップ (千本山) ―

〈安芸森林管理署〉

アクションプログラムの一つであるインターンシップを二月二日に千本山で実施しましたので、参加された高知県立四万十高等学校の生徒さんの体験感想文を紹介します。

千本山の保護林はとても大きくて感動しました。長い年月をかけて手入れがされておき、太陽の光が差し込んでいて、登っていくにつれて低木の木々がよく茂っているのを見ることができました。しかし、最近では温暖化の影響などからシカ

による食害が問題になっていると聞きました。千本山に登っていると、最初のほうは地面を広葉樹の落ち葉が覆っていたが、途中からはスギの落ち葉で地面が覆われていることに気がつきました。地面を踏んだ感触もふかふかしていました。



魚梁瀬スギの大きさの体験

スギはヒノキの枯葉のようにすぐにポロポロにならないため、しっかりと地面を覆うクッションの役割をすべく以前学習しました。千本山は川とのつながりに関しても、とても良い環境なのだと思いました。そのおかげで登山口の下は川はともきれいなのだと納得しました。地元の自然と比較しながら登ることができて、その違いやそれぞれの魅力を発見することができました。また、違う季節に登ってみたいと思います。

高知県立四万十高等学校
自然環境コース二年
大久保 優
西川 香穂



一月二四日、高知市立介良小学校において、森林教室を実施しました、そのお礼の手紙が来ましたので紹介します。

〈指導普及課〉

(森林) コーナー (橋口) さん
今日は木のこしも、木を切った、
いろいろなことをおし知いただき
ありがとうございます。ぜひは木の
大きさをいりました。それで木を
切るのがとてもあがしかたでも
でもなにかがきてよかたでもそれが
ら木のまありをけするのがあが
かしかたでも今日は本当にあ
がとうございました。

「あしずり駅伝」

参加について

〈四万十森林管理署〉

二月一四日、土佐清水市で行なわれた「足摺駅伝大会」に参加しました。この大会は、今年で四二回目という歴史ある大会であり、県内外から大勢の参加がある大会です。

その大会に四万十署長率いる「四万十フオレストアーズ」が参加しました。

第一走者は上り坂を上り坂と思わせない、爽やかな笑顔で走り抜けた森下禰原森林官、第二走者は街道の応援団に笑顔を振りまいての走りだった窪川森林事務所山下君、第三走者は四・五kmでも余裕の走りを見せていた福山三原森林官、第四走者は抜かれはしましたが、諦めず最後まで走りきった楠山森林事務所成瀬君、第五走者は下り坂で膝に負担のかかる区間でしたが、粘り強いベテランの走りを見せてくれた、川登森林事務所太田さん、最終走者は満を持しての登場、堀尾署長でした。

署長は、最後の直線で三人を抜き去り、応援に行けなかった若手が作った応援メッセージ

ジを繋げたゴールテープへゴールインしました。結果は、四四組中二七位です。まずの成績も残せました。この日は肌寒い日でしたが、沿道には多くの方々が応援に駆けつけており、森林管理署の名前を大いにPRすることが出来ました。来年は二チームでの参加を誓いあい解散しました。



来年は二チーム出場だ！